

大接戦の米大統領選挙

ポイント① バイデン氏がやや有利か

11月3日に投票が行なわれた米国の大統領選挙は大接戦となり、日本時間5日午後1時時点では決着がついていません。大統領選は州ごとに選挙人を選出する形を取りますが、これまでのところ、民主党のバイデン候補が獲得した選挙人の方が過半数となる270人に近く優位と見られますが、ペンシルバニア州などまだ決着がついていない激戦州の帰趨によっては、共和党トランプ大統領の逆転の可能性も残されています。

ポイント② 議会上院は微妙な情勢

同時に行なわれた連邦議会上・下院選挙では、下院は民主党が過半数を維持しそうですが、上院は微妙な情勢です。米国では予算策定などの国内の重要政策においては議会の権限が強くなっています。現在のように上・下院が共和党と民主党に割れる「ねじれ」状態が続けば、トランプ氏とバイデン氏のどちらが大統領になっても、自ら主張する政策を実現することは、必ずしも容易ではないでしょう。

ポイント③ 混乱の長期化が避けられるか

大統領選でどちらの候補が勝っても、追加財政刺激策などで景気回復を支えることが当面の課題となります。その点では大統領選という不透明要因がなくなることは、米国や世界の株式市場にとってプラスでしょう。3、4日の米国株式市場は大きく上昇しました。ただし、バイデン氏が勝てば、環境保護政策が強化されることで関連産業にはプラスに働き、エネルギー産業にはマイナスに働く可能性はあります。

市場への影響として注意すべきは、郵便投票の扱いなどを巡る法廷闘争などで混乱が長期化し、選挙の決着がなかなかつかないことでしょう。

図1：米大統領選挙の選挙人獲得人数

	共和党	民主党	未決定
2020年			
大統領候補	ドナルド・トランプ	ジョー・バイデン	
副大統領候補	マイク・ペンス	カマラ・ハリス	
獲得選挙人	214	253	71
得票率	48%	50%	
2016年			
大統領候補	ドナルド・トランプ	ヒラリー・クリントン	
副大統領候補	マイク・ペンス	ティム・ケイン	
獲得選挙人	306	232	
得票率	46.0%	48.1%	

(注) 2020年選挙の結果は日本時間11月5日午後1時時点

(出所) 米国abc NEWSサイト (<https://abcnews.go.com/Elections>)
より野村アセットマネジメント作成

図2：米連邦議会上・下院選挙の獲得議席数

	共和党	民主党	未決定
上院（議席数100）			
今回獲得議席	18	12	5
今回改選議席	23	12	
非改選議席	30	35	
選挙後議席	48	47	5
選挙前議席	53	47	
下院（議席数435）			
今回獲得議席	199	208	28
選挙前議席	201	233	

(注) 2020年選挙の結果は日本時間11月5日午後1時時点。
民主党上院には民主党寄りの無所属議員を含む。

(出所) 図1と同じ

重要
イベント

11月6日
11月17日

米雇用統計（10月）
米小売売上高、米鉱工業生産（10月）

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。